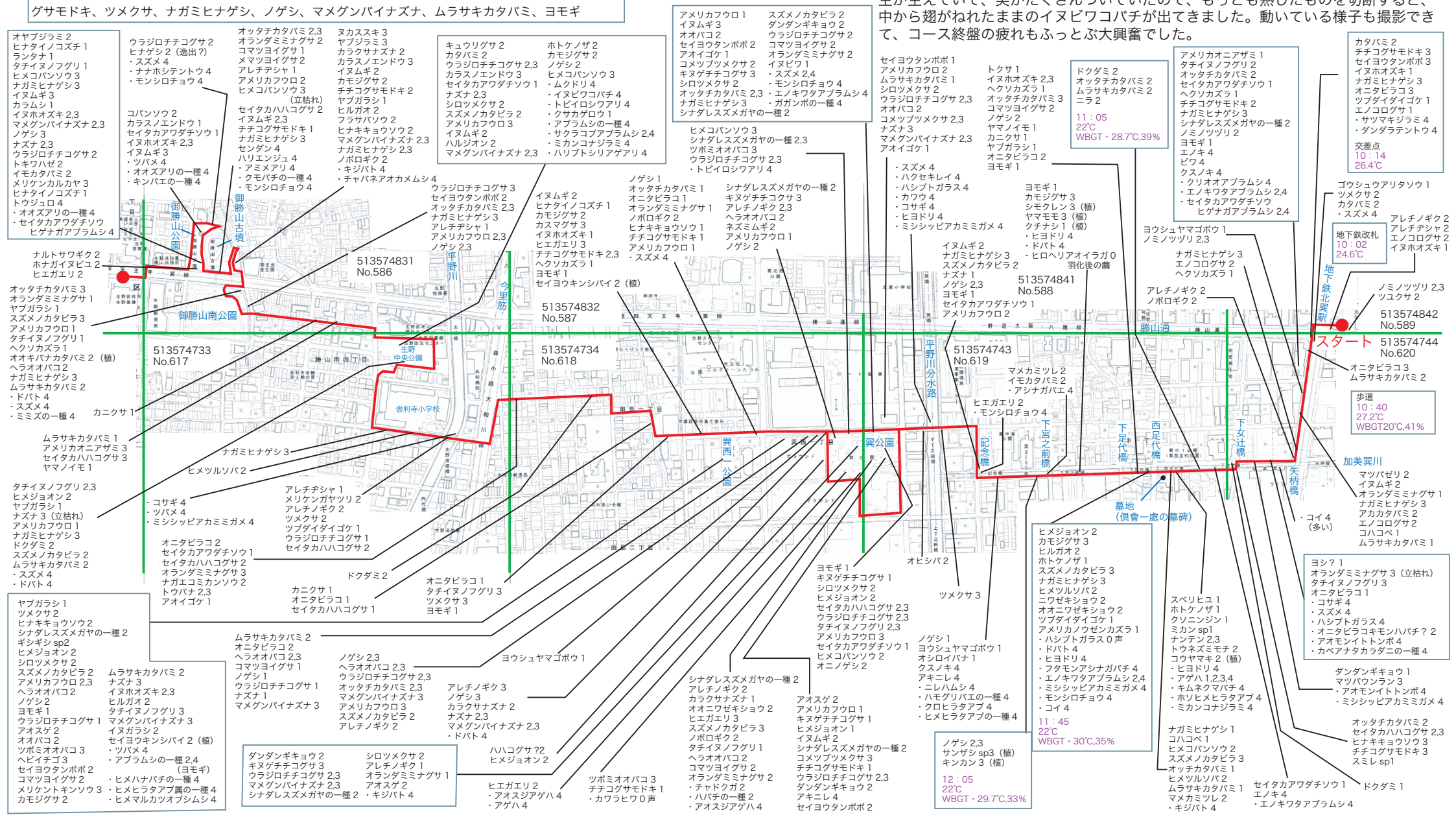
# 東成・生野周辺で観察された生き物の記録　コース No.23

種名とともに、状態を表す記号を付記した。
1: 葉、卵　2: 花、幼虫、幼鳥　3: 果実、蛹　4: 実生、成虫、成鳥　0: その他　植 : 植栽
※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録した。
　植物の種名は見つけた順に、また、動物は植物の後に、種名の前に・印をつけて記載した。
※2 分の 1 地域メッシュコード（総務省）で分割し、そのコード番号の下に記載した No.
　は旧「みどりと生き物会議」で使用した大阪市域 500m メッシュナンバーである。

日　時 :2019 年 5 月 19 日　10:00〜17:00　天候 : 曇り
調査者 : 木山正隆　桑村和男　中谷憲一　林耕太　桝元慶子　松川欣二
一般参加者 : 1 名　事務局 :
場　所 : エリア・マップ No.2〜6
コメント : 加美巽川から西に進み、御勝山古墳まで、10 時から 17 時までの長い道のりでした。巽公園では、キヌゲチチコグサの綿毛が一面に広がっていて、他の地域でも最近増えてきているように思いました。生野中央公園のフェンス際にイヌビワの実生が生えていて、実がたくさんついていたので、もっとも熟したものを切断すると、中から翅がねれたままのイヌビワコバチが出てきました。動いている様子も撮影できて、コース終盤の疲れもふっとぶ大興奮でした。

ほぼ全域でみられた野草 : アメリカフウロ、イヌホオズキ、ウラジロチチコグサ、オニタビラコ、オッタチカタバミ、オランダミミナグサ、スズメノカタビラ、コマツヨイグサ、セイタカアワダチソウ、チチコグサモドキ、ツメクサ、ナガミヒナゲシ、ノゲシ、マメグンバイナズナ、ムラサキカタバミ、ヨモギ